

# 実務家教員と研究者教員の 境界線はどこにあるのか？

日本実務教育学会設立記念シンポジウム

大学改革を担う実務家教員フェア2021第1部

社会情報大学院大学実務家教員COEプロジェクト

2021年3月20日（土）10:20–12:00

# 第1部の構成

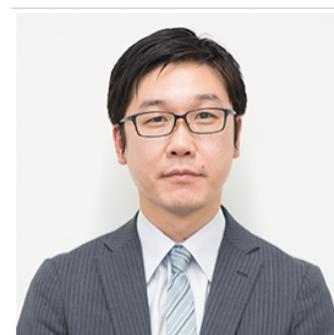
- 10:20–10:30 日本実務教育学会設立の趣旨・  
学会活動予定の説明
- 10:30–10:35 イントロダクション：  
公開研究会の報告と  
本シンポジウムの趣旨説明
- 10:35–10:55 登壇者自己紹介
- 10:55–11:30 パネル・ディスカッション
- 11:30–11:55 フロアからの質疑応答・まとめ
- 11:55–12:00 日本実務教育学会入会案内

# シンポジウム（フェア第1部）での お願い

- 質疑応答の時間までは、  
**マイク・カメラはオフ**でご参加ください
- **質問やコメントは随時チャット欄へ**  
ご記入ください（お名前もご明示ください）  
⇒質疑応答の時間に取り上げます

# 日本実務教育学会 設立の趣旨・ 活動予定の説明

社会情報大学院大学先端教育研究所  
准教授 富井久義





学校法人先端教育機構

# 社会情報大学院大学

THE GRADUATE SCHOOL OF INFORMATION & COMMUNICATION

## 広報・情報研究科 (2017～)

- 組織の理念に基づく広報活動に取り組む  
高度専門職業人養成

## 実務家教員養成課程 (2018～)

- 専門職業人養成に携わる人材の育成

## 実務家教員COEプロジェクト (2019～)

- 専門職業人養成に携わる人材育成  
システムの構築

## 実務教育研究科 (2021～)

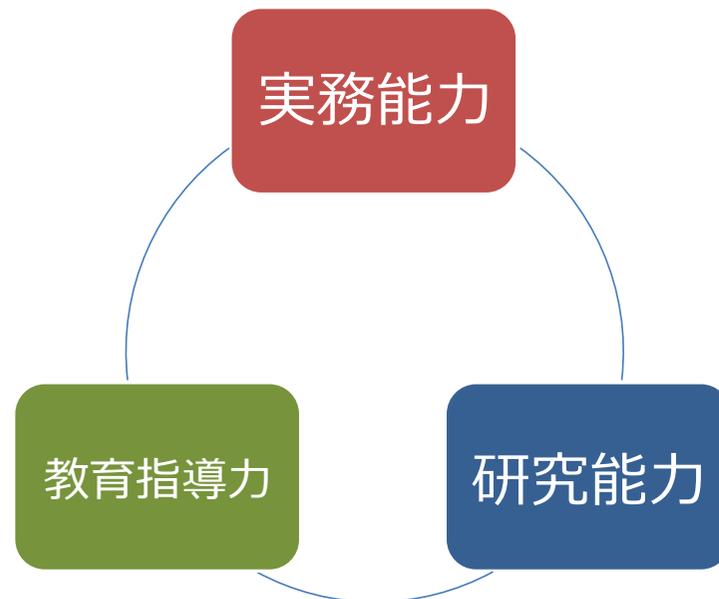
- 実務領域にかんする教育・人材育成を  
行う高度専門職業人の養成



⇒ **実務家による教育・人材育成の可能性への注目**

# 実務家教員養成課程

- 実務家教員になる**入口段階で求められる素養を身につける**  
半期・61時間のプログラム



\* 詳細は第3部でご説明いたします

# 実務家教員養成システム構築にあたっての課題

- 実務能力・教育指導力・研究能力は、実務家教員になるための入口段階だけでなく、**実務家教員として着任した後も不断に研鑽を積む**ことが必要
    - 実務経験の言語化・体系化にもとづく**実践の理論の構築**
    - 実務家教員としての**教育実践の蓄積・共有・体系化**
  - **実務家教員養成のありかたを議論する**場を設ける
- ⇒解決策（のひとつ）としての**日本実務教育学会の設立**

cf. 実務教育研究科（専門職学位課程）、次世代高等教育研究センター（共通FDセンター）

# 日本実務教育学会設立の趣旨

- ① 実務家（教員）による研究実践の場を提供し、  
実践知と学知の融合にもとづく  
**実践の理論の体系化・共有・蓄積**をはかる
  - ② **実務家教員の教育実践の蓄積・共有・体系化**の場  
を提供し、実践の理論にもとづく教育・人材育成  
のありかたを検討する
  - ③ **実務家教員の養成のありかた**を議論する
- ⇒ **実践の理論の体系化と、実践の理論にもとづく  
教育・人材育成のありかたを探究する**

# 日本実務教育学会活動予定

**2020年12月～2021年2月**

**設立記念公開研究会**

**2021年3月20日 設立記念シンポジウム**

2021年8月末 第1回大会エントリー期限

**2021年11月7日 第1回大会・臨時總會開催**

2021年11月末 学会誌第1号投稿期限

2022年3月末 第2回大会エントリー期限

**2022年6月 学会誌第1号発行**

**2022年6月 第2回大会・定例總會開催**

# 日本実務教育学会入会案内

## 対象となる方

⇒**本フェアにご参加のみなさま**

- 実務家教員の方
- 実務家教員になりたい方
- 実務家教員養成に関心のある方
- 実践に即した知識の体系化・理論化に関心のある方
- 実践に即した知識や能力の教育・継承に関心のある方

## 学会ホームページ

<https://jsper.coep.jp/>

## 入会フォーム

<https://jsper.coep.jp/application/>

⇒必要事項を入力してお申し込みください

\* 初年度にかぎっては推薦者不要で入会いただけます

# イントロダクション： 公開研究会の報告と 本シンポジウムの趣旨説明

社会情報大学院大学  
実務家教員COEプロジェクト事業責任者  
学監・教授 川山竜二

# 自己紹介

川山竜二 (かわやま りゅうじ)



○社会情報大学院大学 学監・研究科長

武蔵野大学客員教授、事業構想大学院大学客員教授

○専門 **知と社会**、**プロフェッショナル論**、**社会システム論**

社会学者。専門学校から予備校まで様々な現場にて教鞭を執る実績をもつ。法学・神学などから学問の制度化に関する研究。学問の体系を「学問的知見」と「**反省理論 (= 実践知)**」のサイクルとして定義づける科学システムを提唱。現在は、「社会動向と知の関係性」から**専門職大学**、**実務家教員養成**の制度設計に関する研究と助言も多数おこなっている。そのなかで、**リカレント教育**や**ラーニングソサエティ**、**知識3.0**を提唱。

現在の関心のキーワードは、**実践の理論**・**高度専門職業人**。

**文部科学省 持続的な産学共同人材育成システム構築事業委員**

**実務家教員COEプロジェクト責任者**

**東大和市GIGAスクールサポーター**

# 日本実務教育学会設立記念 公開研究会

## 第1回 実務家教員養成のありかた

—実務家教員に必要なファカルティ・ディベロップメント—  
報告者：佐藤浩章先生（大阪大学）

## 第2回 実務家教員の教育と研究とはなにか

報告者：丸山和昭先生（名古屋大学）

## 第3回 実務家教員の研究実践事例

—新米実務家教員の『昨日＋今日＋明日』—  
報告者：上田修三先生（京都光華女子大学）

⇒学会での主要なテーマを、報告とディスカッションを  
つうじて検討

# 日本実務教育学会設立記念 公開研究会

## 公開研究会で出た論点

- 実務家教員と研究者教員は敢えて分けてとらえるべきものではない
- 実務家教員と研究者教員の連携による教育研究実践がありうる
- 実務家教員にとって課題となるのは実践知をいかに更新
- 実務家教員は一括りにはできないので、専門分野ごとに分科会を立ち上げていくべき

⇒実務家教員の研究能力や知識の体系化にフォーカスすると、  
実務家教員は研究者教員に漸近する？—それでよいのか？

⇒本シンポジウムの主題

「実務家教員と研究者教員の境界線はどこにあるのか？」と問うのはなぜか？

## 実務家教員への期待の高まり

豊富な実務経験を有する実務家が、その実務能力を基盤として、教育能力や研究能力を身につけることが期待される

## 研究者教員への期待も高まっている

複雑化する社会で生き抜く力を学生が身につけられる教育プログラムへの取り組みが期待される

⇒研究能力を有する**実務家教員**と  
社会のアクチュアリティに目を向けた授業を展開する**研究者教員**は、**振る舞いの水準で漸近する**

「実務家教員と研究者教員の境界線はどこにあるのか？」と問うのはなぜか？

## 日本実務教育学会

- 実践の理論の体系化、実践の理論にもとづく教育・人材育成のありかたの探究
- ⇒ **実務家教員を研究者教員と分けてとらえる認識**を基盤として成立している
- ⇔ **敢えて境界線を問うこと**で見えてくる  
(と期待される) **こと**
- **実務家教員の特有性**がどこにあるのか
- **学会での議論の射程**がどこにあるのか

# 登壇者

## パネリスト

- 吉武博通先生  
(情報・システム研究機構監事、東京家政学院理事長)
- 稲永由紀先生 (筑波大学大学研究センター 講師)
- 佐藤浩章先生  
(大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部准教授)

## モデレーター

- 川山竜二

# シンポジウムの構成

10:35–10:55 登壇者自己紹介

10:55–11:30 パネル・ディスカッション

質問・コメントはチャット欄に書き込みを  
マイク・カメラはオフのままをお願いします

11:30–11:55 フロアからの質疑応答・まとめ

書き込みいただいた質問・コメントを  
取り上げます  
とくに**ご発言いただく場合のみ**  
**マイク・カメラオン**をお願いします